タカラ気泡風呂《ヘルシージェット》

多機能ジェットポンプ　HJPT-460(50)
HJPT-460(60)

家庭用

設置・工事説明書

工事される方へのお願い

◇この器具を正しく安全にご使用いただくために、この「設置・工事説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
◇この器具には指定された専用浴槽・システムバスが必要です。浴槽・システムバスの「施行説明書」もよくお読みください。
◇工事終了後にお客様に使用法法、保証の内容をよく説明の上、「取扱説明書(保証書付)」、「設置・工事説明書」をおわたしください。

安全のために必ずお守りください。

◇ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される場合
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

図記号の意味は次の通りです。

⃠	このような図記号は、「禁止行為」を告げるものです。絶対に行わないでください。
❗	このような図記号は、「行為の指示」を告げるものです。必ず指示に従い、行ってください。
⚠	このような図記号は、「注意・確認事項」を告げるものです。注意・確認してください。

⚠警　告

必ずアース(接地)工事をする。
- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

絶対に分解したり、修理・改造は行わない。
- 感電や発火の原因となり、異常動作して事故やけがをすることがあります。
- 修理は販売店にご相談ください。

電気工事は、必ず電気工事士の資格者が行う。
- 電気回路容量不足や工事不備があると、感電・火災の原因になります。

ポンプは浴室外設置用につき、浴室内には絶対に設置しない。
- 感電のおそれがあります。

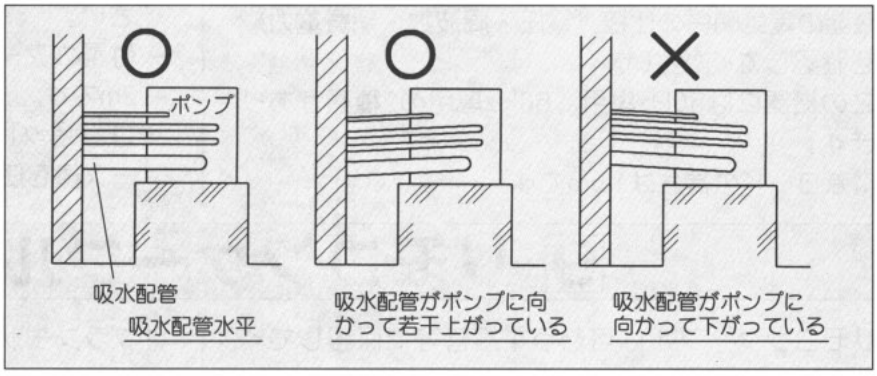
漏電しゃ断器のレバー、ポンププロテクタ(赤ボタン)をテープなどで固定しない。
- 発火、火災のおそれがあります。

⚠注　意

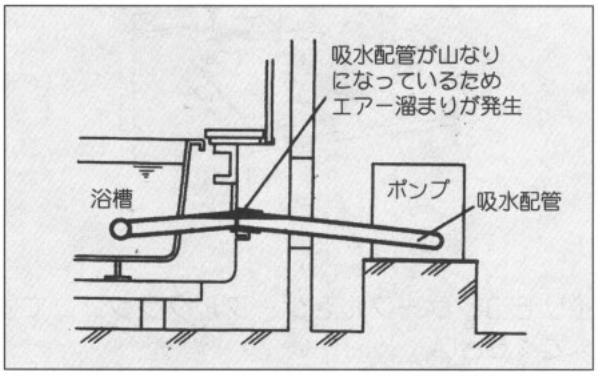
⊘	ポンプは屋外設置用につき、屋内には設置しない。 ●故障時、修理・点検時に漏水のおそれがあります。
❗	ポンプを2階以上に設置される場合はポンプ周囲の排水対策を必ず実施する。 ●故障時、修理・点検時に漏水のおそれがあります。
⊘	交流電源100V以外では使用しない。 ●火災、感電の原因となります。
❗	本体に表示してある電源周波数と電力会社の周波数が一致しているか確認する。 ポンプは50Hz、60Hz専用です。 ●火災、感電の原因となります。
❗	凍結の恐れのある地区では、必ず保温工事をする。 ●凍結による損傷で漏水の恐れがあります。

施 工 上 の 注 意

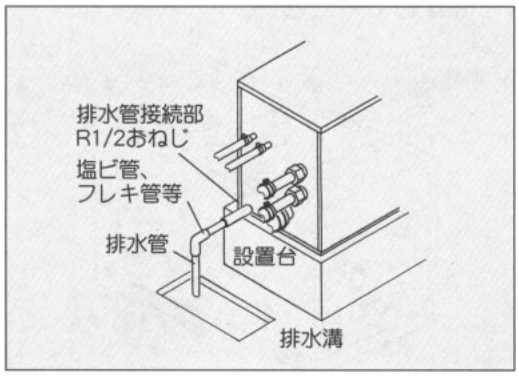
●ポンプと浴槽の接続配管は、必ず、吸水配管が水平、又は浴槽からポンプに向かって若干の上り勾配になるように取付けてください。



●吸水配管には山部がてきないようにしてください。



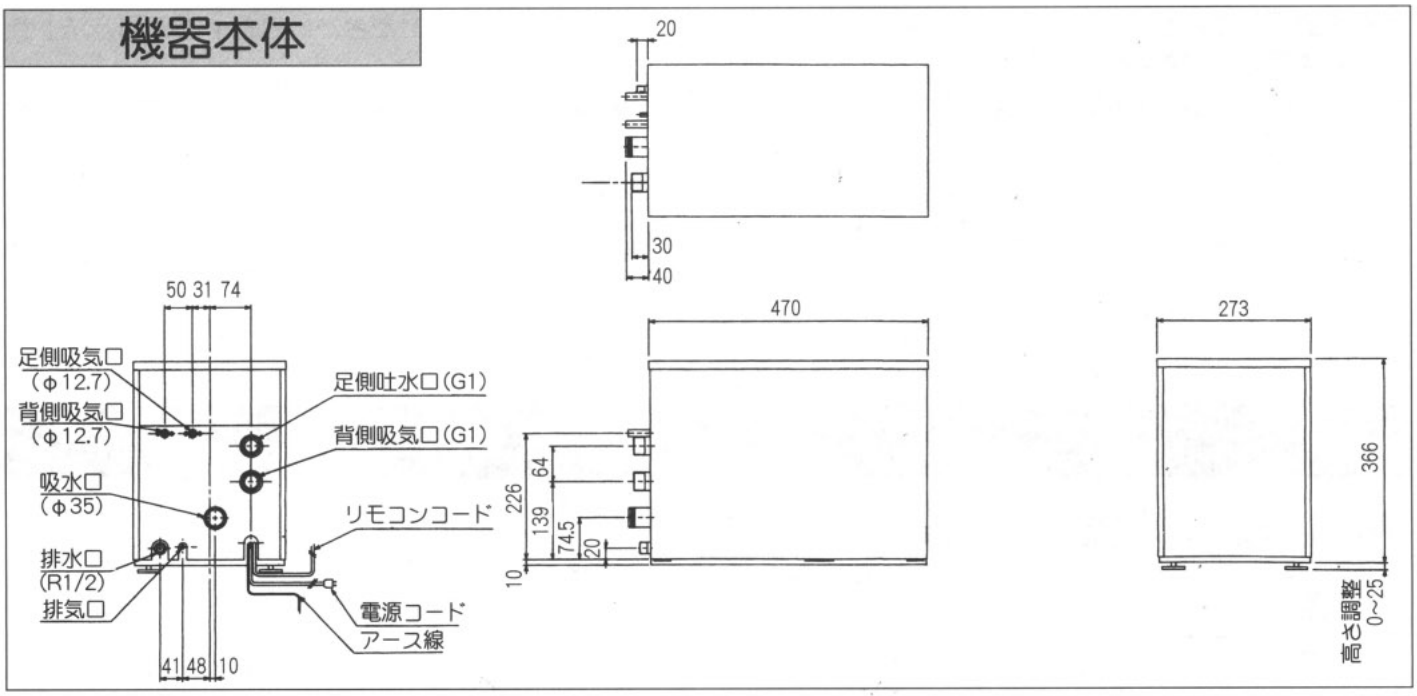
●ポンプ排水口には必ず排水管工事を行ってください。排水管にはバルブを取り付けないでください。



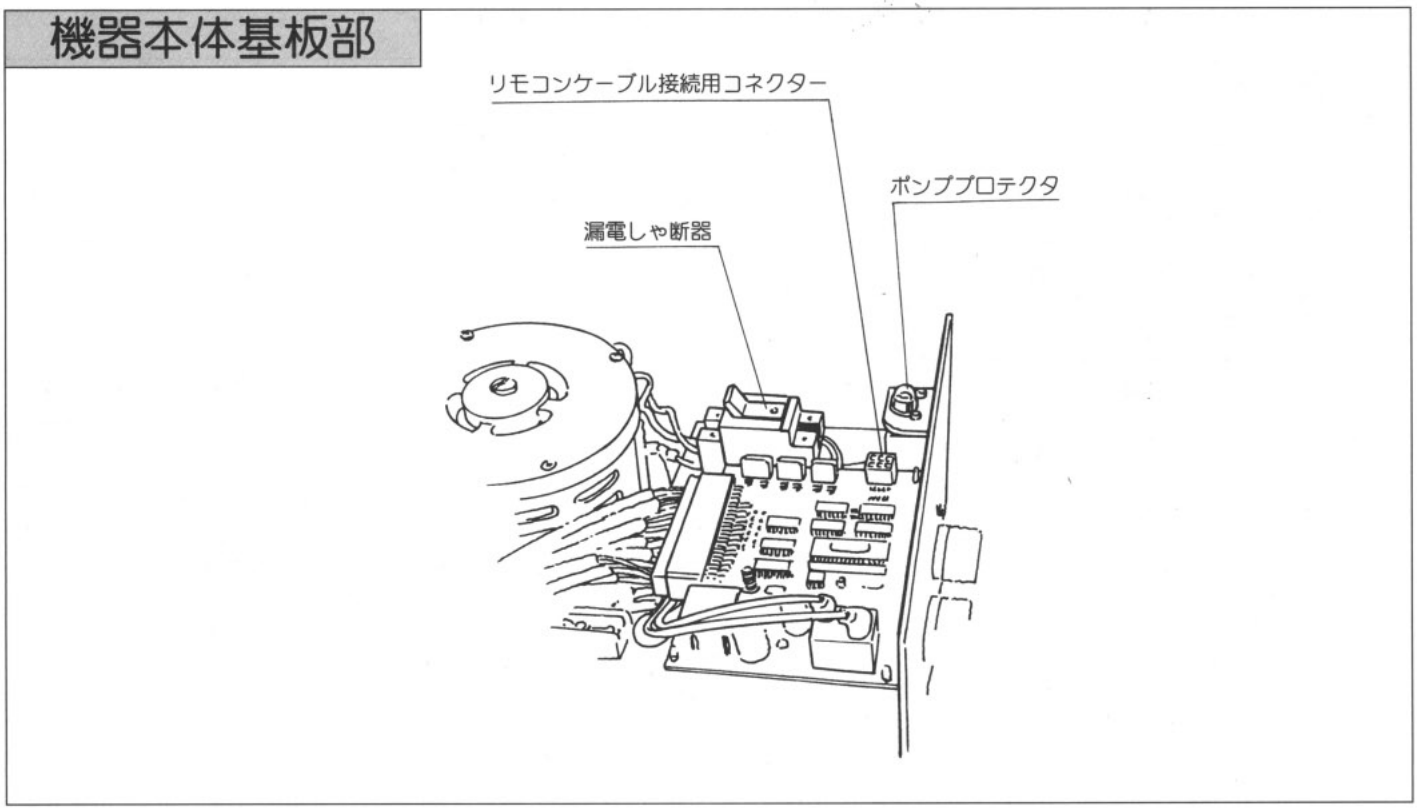
●配管内部に異物が入らないように注意してください。
●配管を立ち上げたり、自動空気抜き弁を使用しての施工は運転不良を起こしますので絶対にさけてください。
●リモコンケーブルは可とう電線管等で保護してください。
●リモコンケーブルは点検口より点検・交換できるように施工してください。
●ポンプは豪雨などの時にも冠水することがない水はけの良い場所、又点検のできる場所に設置してください。
●積雪地域に設置する場合は、雪害に耐えられる十分強度のある防護壁や屋根を設置し、ポンプを保護してください。
●ポンプの脚(アジャストボルト)は絶対にセメントなどで埋め込まないでください。
●延長配管をする場合は、配管を水平にし、垂れ下がらないように、必ず配管を支持してください。
(詳細は11ページを参照してください。)

各部の名称および外形寸法図

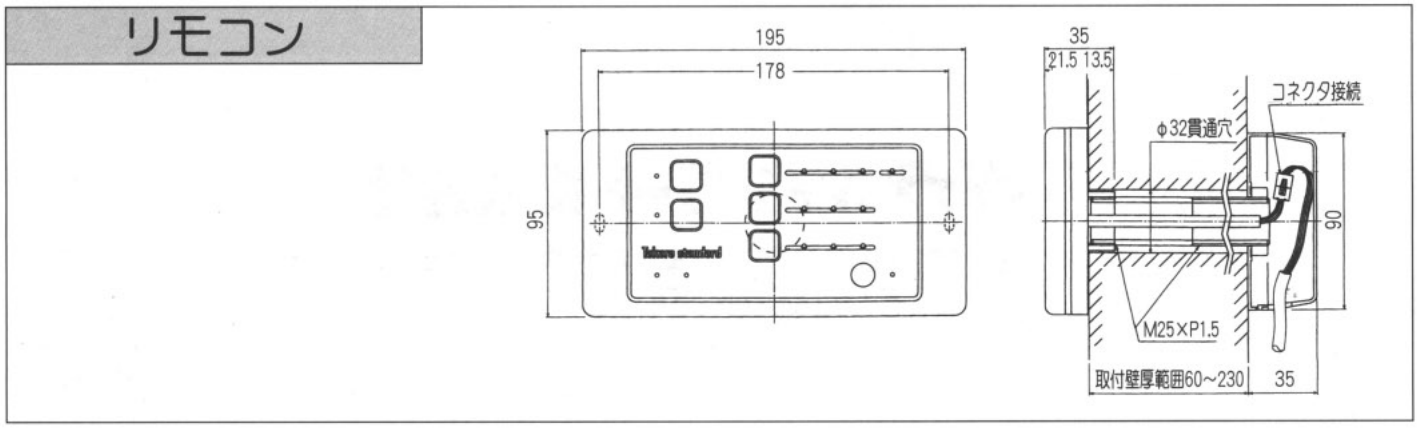
機器本体



機器本体基板部



リモコン

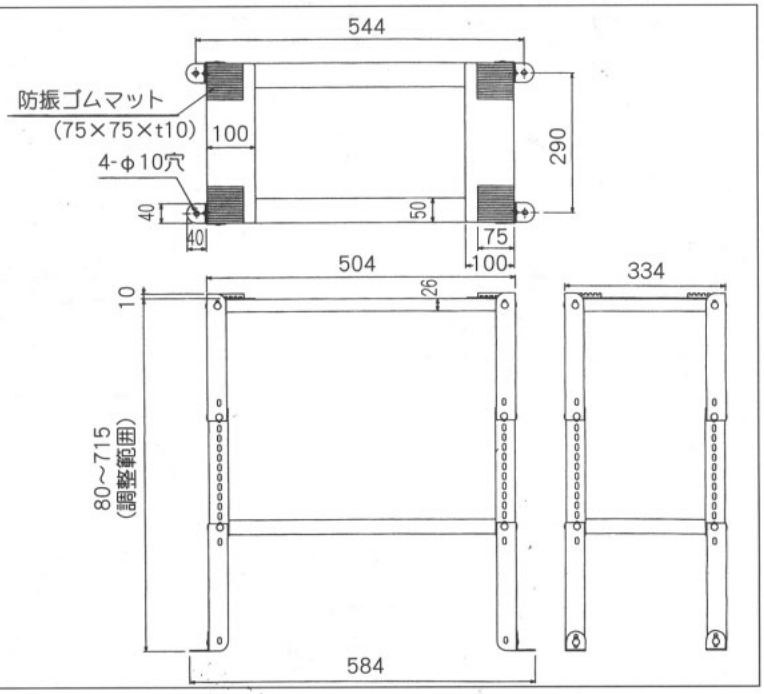


別売品

・接続配管セット
……必ず必要です。
品番　ハイカン　B-PT
（部品内容は5ページを参照してください。）

・延長配管セット
品番　エンチョウハイカン　G-100
ゴムエルボ-G
ゴムソケット-G
（部品内容は各浴槽、及びシステムバスの施工説明書を参照してください。）

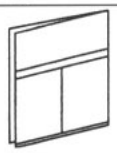
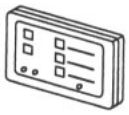
・専用架台（右図）
品番　HJPカダイ-500



開こん

付属部品の確認

・次の部品が付属されていますので確認してください。

部品	形状	個数	備考
設置工事説明書		1	
取扱説明書		1	
リモコン		1	
リモコンケーブル		1	5 m
アース棒		1	
木ネジ		2	リモコン用
オールプラグ		2	リモコン用

部品	形状	個数	備考
連結パイプ		1	リモコン用
六角ナット		1	リモコン用
接続ボックス		1	
接続ボックスパッキン		1	接続ボックス用
コードクランプ		1	接続ボックス用
ビス		1	接続ボックス用

浴槽・ポンプの設置工事、電気工事

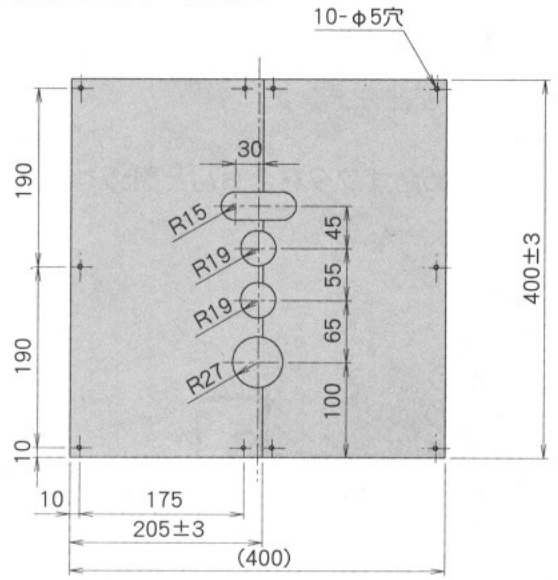
工事の際には、本説明書の他に、ヘルシージェット専用浴槽、専用システムバスの施工説明書をよくお読みになって指定の工事を行ってください。

＜施工手順＞

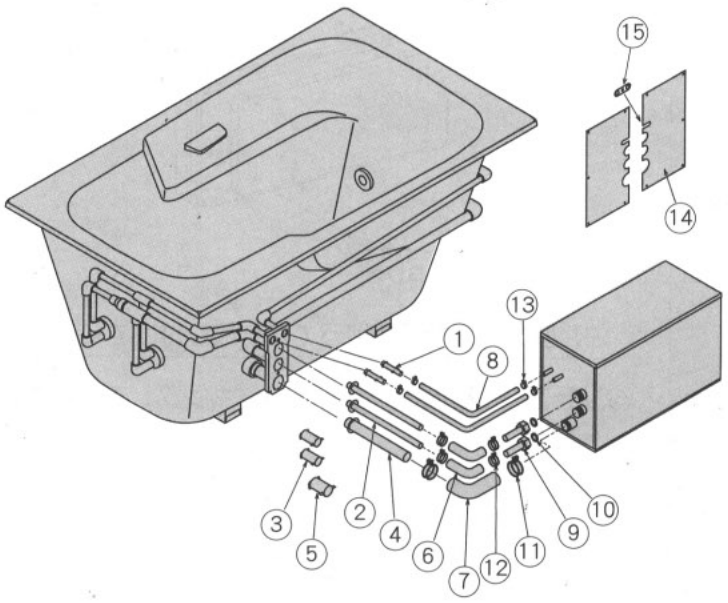
下記の手順は専用浴槽の場合の手順を示しています。専用システムバスの場合は、各々の施工説明書に従ってください。

1 浴室の下地作り
2 浴槽の穴あけ作業
3 浴槽の据付け
4 ポンプ据付台の下地作り
5 配管作業
6 ポンプ排水口排水管工事
7 リモコンの取付け
8 電気工事
9 リモコンケーブルの接続
10 設置工事後の確認
11 試運転

点検口カバー寸法図



接続配管セット（ハイカン　B-PT）



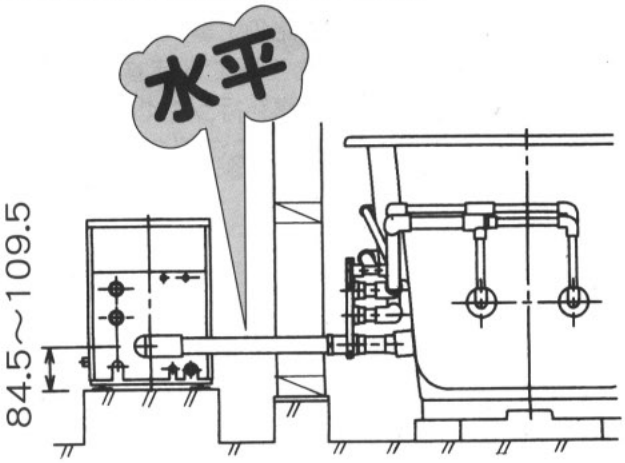
No.	名　　称	個数	
1	空気接続管	2	
2	接続配管 20PT(L:472)	2	セット
−	保温材 20A(L:410)	2	
3	配管固定スリーブ 20	2	
4	接続配管 25PT(L:418)	1	セット
−	保温材 32A(L:350)	1	
5	配管固定スリーブ 25	1	
6	ゴム継手 20LL	2	
7	ゴム継手 32LL	1	
8	空気ゴム管 60(L:600)	2	
9	接続配管 20A	2	セット
−	保温材 20A(L:75)	2	
10	パッキン 20A	2	
11	ホースクランプ φ50	2	
12	ホースクランプ φ30	4	
13	ホースクランプ φ20	4	
14	点検口カバー(取付ビス付)	1	
15	ゴムブッシュ	1	
−	トラス小ネジM5(防水パンタイプのみ使用)	2	

<施工方法>

1 浴室の下地作り
2 浴槽の穴あけ作業
3 浴槽の据付け
4 ポンプ据付台の下地作り

} 専用浴槽の施工説明書に記載されています。

接続配管が水平になるようにポンプ設置位置を確認してポンプ据付台を設置してください。
（詳細は12ページの標準配管設置図を参照してください。）

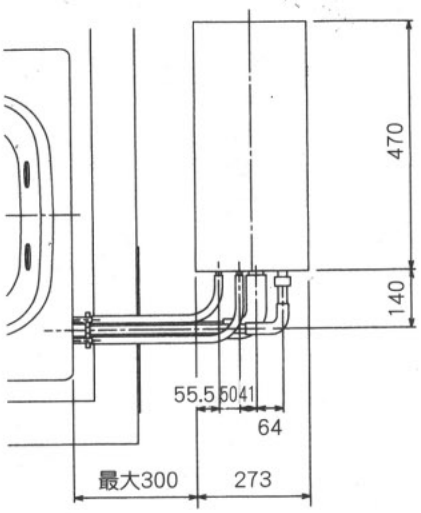


5 配管作業

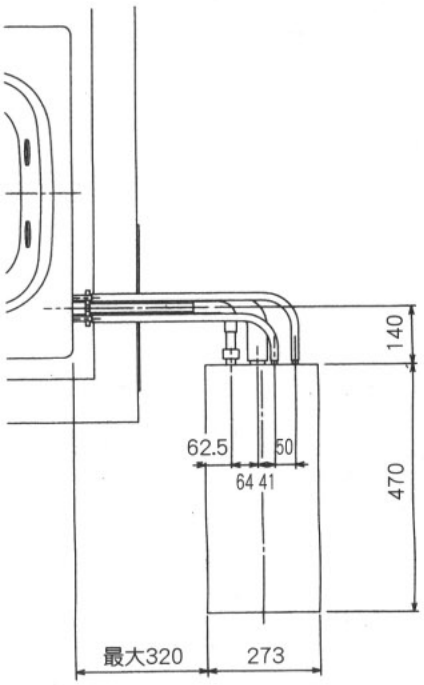
①接続配管の切断

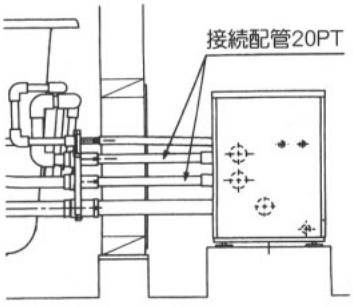
- 浴槽に同梱の接続配管セットは図Aの設置寸法になっています。ポンプを壁に近付ける場合は、各接続配管をカットしてください。
- 図Bのようにポンプを左右逆に設置する場合は、接続配管20PT（2本）を128mm切断してください。ポンプを壁に近付ける場合は、各接続配管をさらに切断してください。

図A

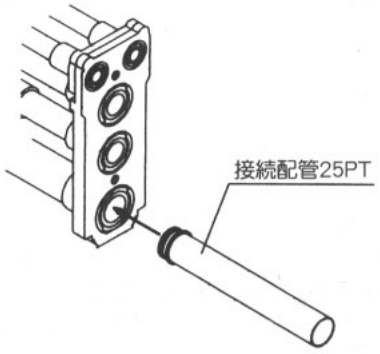


図B

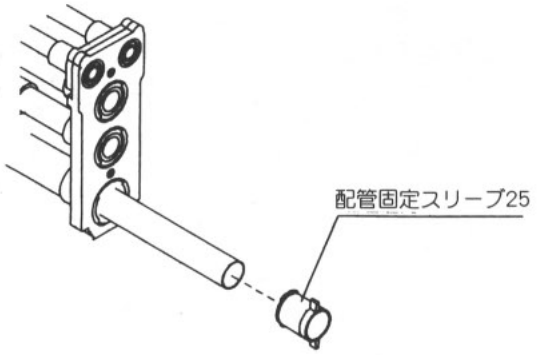




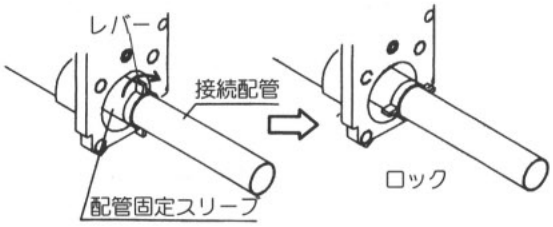
②接続配管25PTを接続穴に差し込んでください。



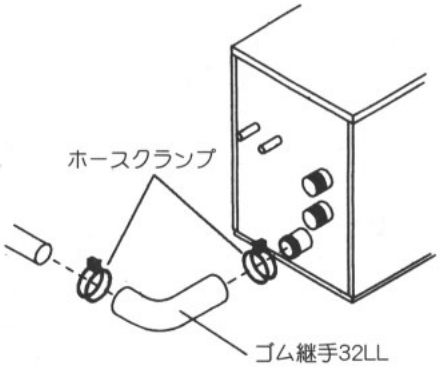
③配管固定スリーブを接続配管25PTに差し込んでください。



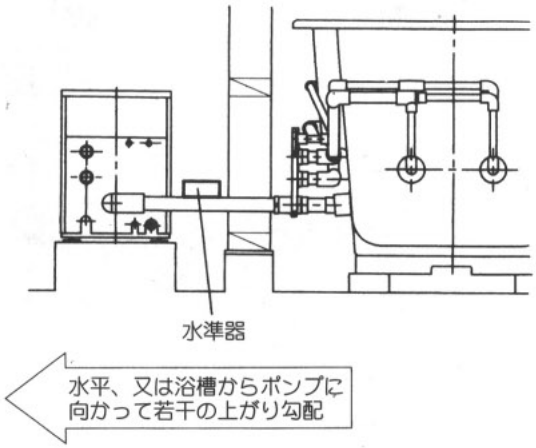
④配管固定スリーブを右に回してロックしてください。



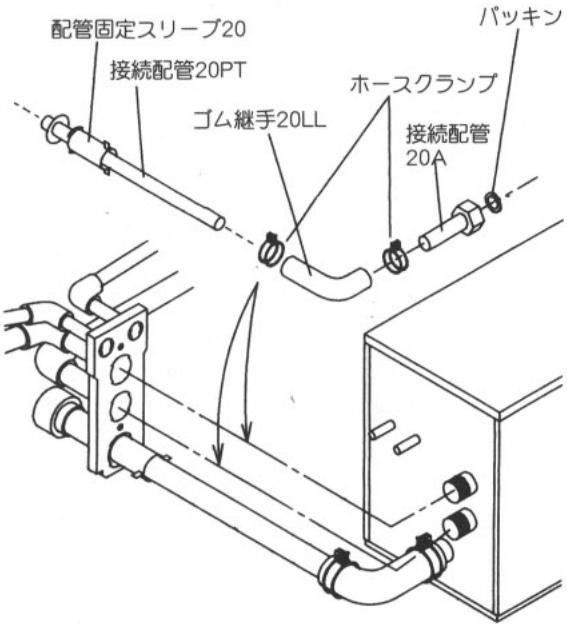
⑤ゴム継手32LLで接続配管25PTとポンプを接続してください。なお、この時点ではホースクランプは仮締めしてください。



注：吸水配管は水平、または浴槽からポンプに向かって若干の上がり勾配にしてください。



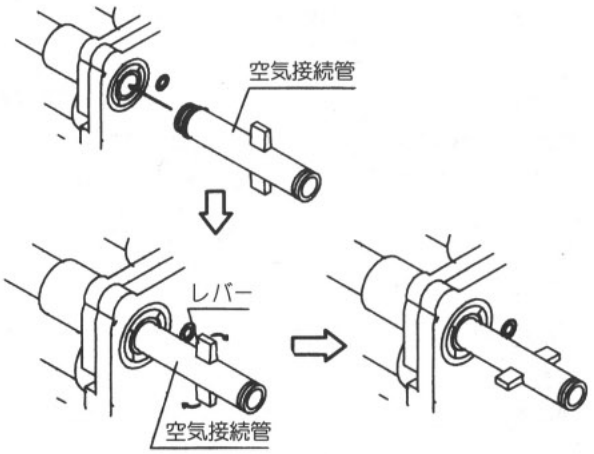
⑥同様に噴出配管を接続してください。
噴出配管のポンプ側は、接続配管20Aを使用して、ポンプの接続口にパッキンをはさんで接続してください。



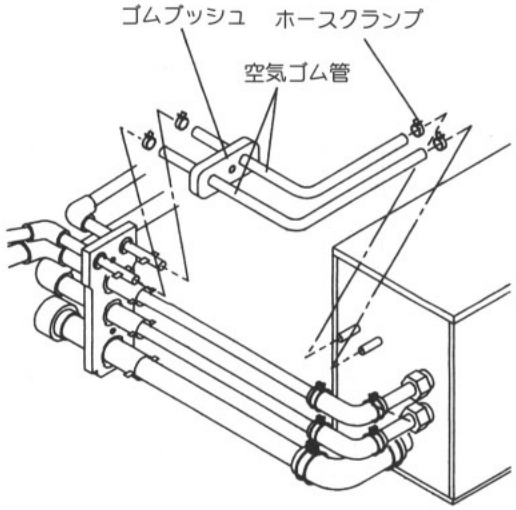
注：噴出配管は、必ず吸水配管のレベル出しをした後で接続してください。

注：噴出配管は上が足側、下が背側です。上下を逆に接続するとリモコンの表示と噴流の出方が逆になりますので注意してください。

⑦空気接続管を接続穴に差し込んで右に回してロックしてください。

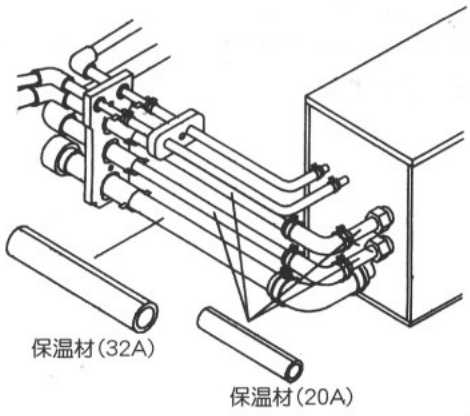


⑧空気ゴム管、ホースクランプで空気接続管とポンプを接続してください。この時、ゴムブッシュに空気ゴム管を通しておいてください。

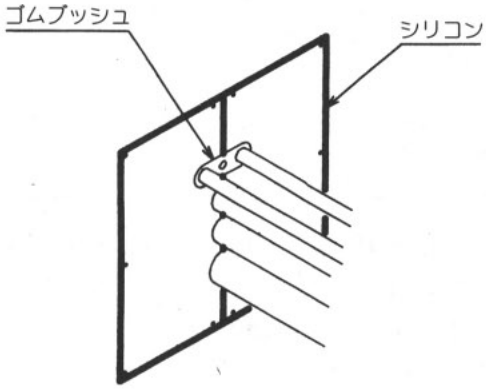


⑨各ホースクランプを本締めしてください。

⑩保温材の巻付け
試運転後、各接続管に保温材を巻付けてください。

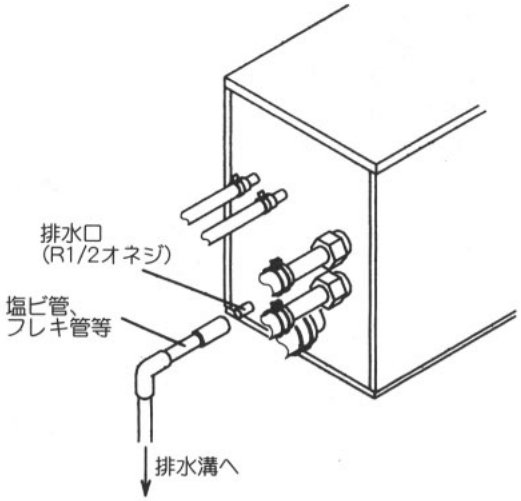


⑪配管接続穴の仕上げ（試運転後の作業）
ゴムブッシュをはさみ込みながら点検口カバーを取り付けてください。取付後、点検口カバーのまわり（図の太線部）にシリコンを充填してください。

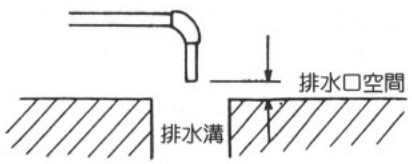


6 ポンプ排水口排水管工事

ポンプ排水口（接続R1/2）に排水管を取り付けてください。（配管部材はご用意ください）



● 下水が逆流しないように
排水口空間をとってください。



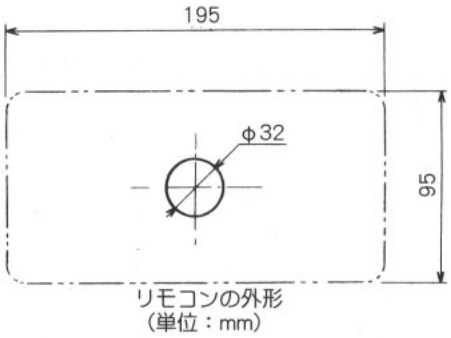
注意
● 排水バルブは絶対につけないでください。

7 リモコンの取付け(ヘルシージェット専用浴槽の場合)

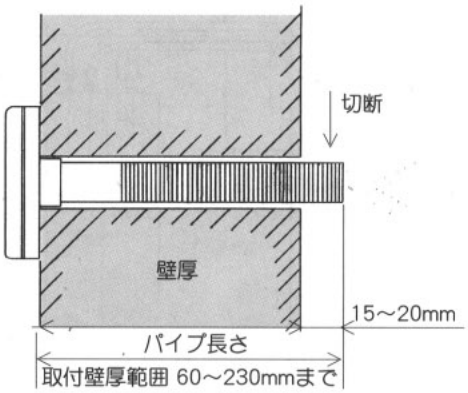
○ポンプとリモコンのケーブル接続は24V以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事を行ってください。
○ヘルシージェット専用システムバスの場合は、各々の施工説明書をご覧ください。
○電源プラグが抜いてあることを確認してください。
○浴室内に取り付けますが、シャワーの水や水しぶきが直接かからない場所を選んでください。

壁貫通式の場合

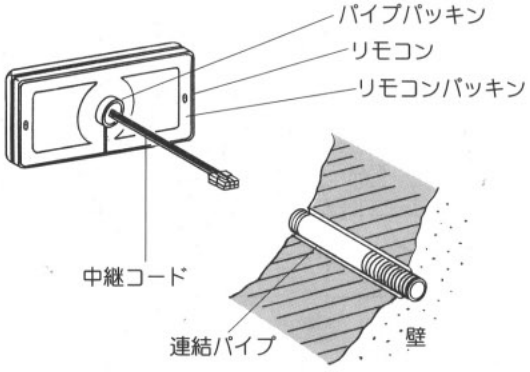
①浴室の壁にφ32mmの貫通穴をあけてください。



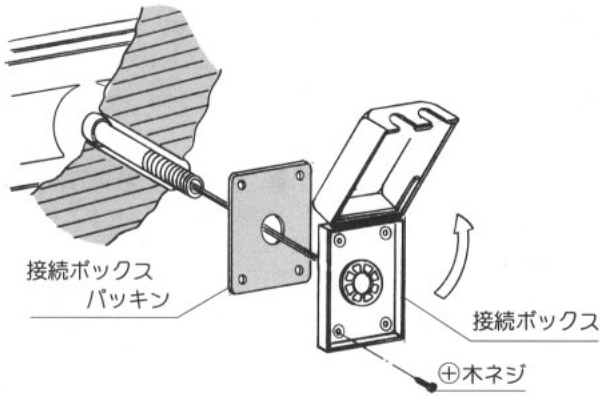
②連結パイプを壁から15～20mm突き出るように切断してください。



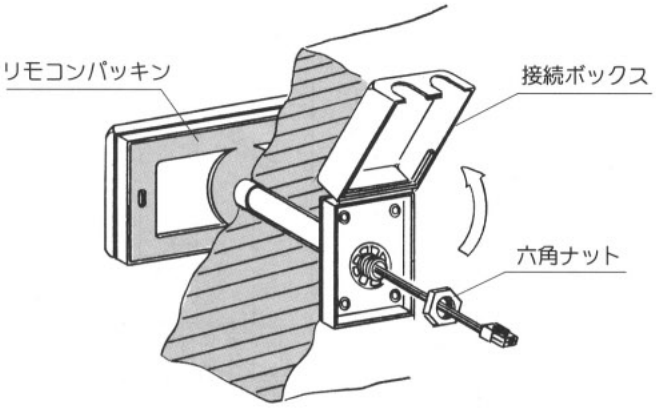
③リモコンに連結パイプを必ず取り付けてください。パイプパッキンが入っているか確認してください。



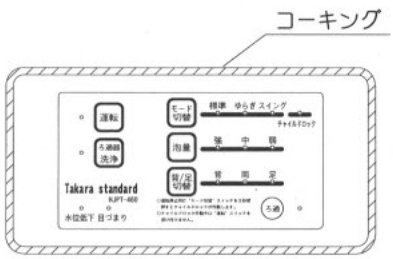
④接続ボックスに接続ボックスパッキンを貼って壁面外側に取り付けてください。



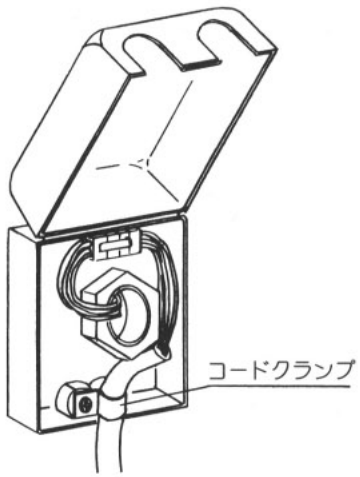
⑤リモコンパッキンの離型紙を取って壁面に固定し、接続ボックスの外側から連結パイプを六角ナットを使って締めてください。



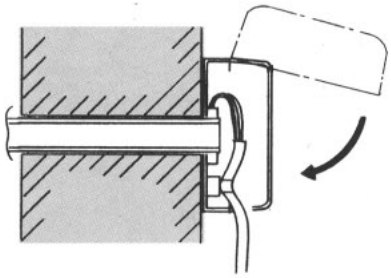
⑥リモコンと壁面の間を全周コーキングしてください。



⑦リモコンケーブルと中継コードを6Pコネクタで接続し接続ボックス内にしまいこんでリモコンケーブルをコードクランプを使って固定する。

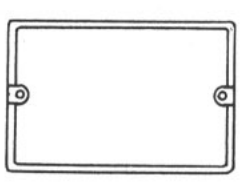


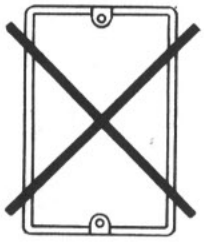
⑧防雨のため必ずフタをきちんと閉めておいてください。



スイッチボックスの場合

- スイッチボックスはJIS C8336の1個用スイッチボックス（カバー付き）-コンクリート壁用または、1個用スイッチボックス（カバーなし）-木造真壁用をお使いください。
- スイッチボックスは横向きに施行してください。縦向きでは施行できません。

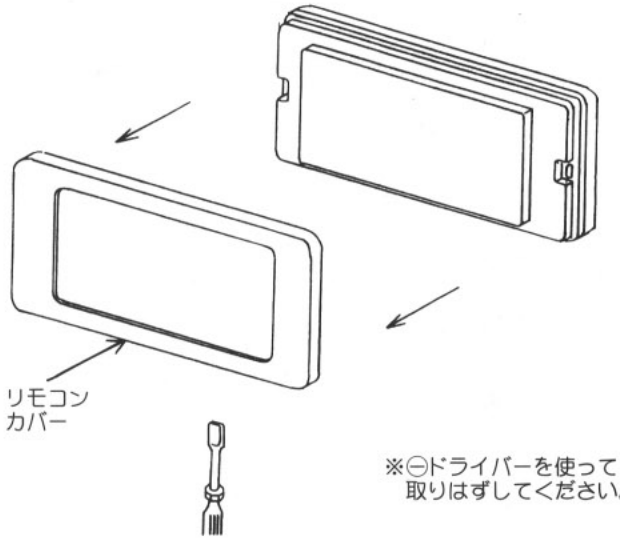




①リモコン取り付け壁面よりリモコンケーブルが引き出されていることを確認してください。

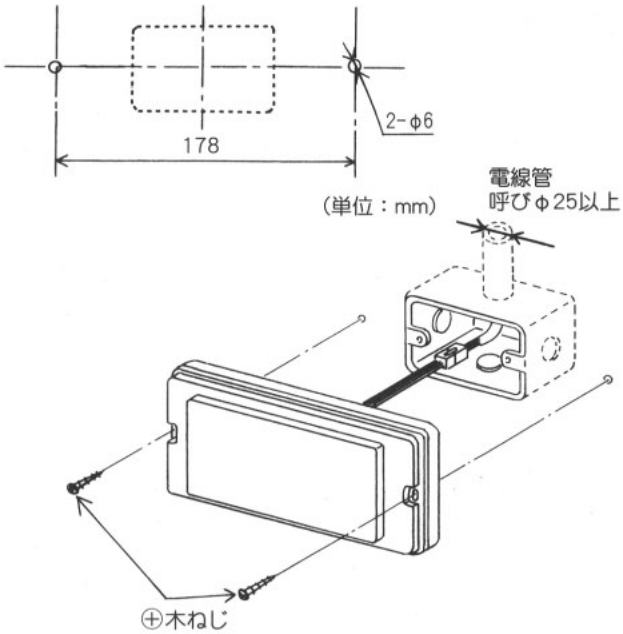
②リモコンの中継コードとリモコンケーブルを6Pコネクタで接続してください。

③リモコンカバーを取りはずしてください。



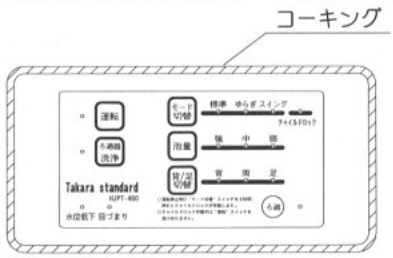
※㊀ドライバーを使って取りはずしてください。

④リモコンを壁面に+木ねじにて固定してください。
壁（または壁の素地）がコンクリート、ブロックなどの場合はオールプラグ用穴（φ6、深さ25mm以上）を2箇所あけ、オールプラグを入れてから、+木ねじにて固定してください。



注）壁面の離型紙を取ってから取り付けてください。

⑤リモコンと壁面の間を全周コーキングしてください。



⑥リモコンカバーをもと通りに取り付けてください。

延長配管について

- 標準の接続配管セットでは配管できない場所に設置する場合は延長配管を行ってください。
- 延長配管は標準の接続配管セットと別売の延長配管部材を組み合わせて行ってください。

(1)延長配管部材

品　名	部品明細
エンチョウハイカンG-100	銅管32A(1m)……1 銅管20A(1m)……2 保温材32A(1m)……1 保温材20A(1m)……2 空気ゴム管(1m)……2 空気ゴム管接続パイプ……2 ホースクランプ……4
ゴムエルボ-G	ゴム継手32L……1 ゴム継手20L……2 ホースクランプφ50……2 ホースクランプφ30……4
ゴムソケット-G	ゴムソケット32……1 (内径φ34×外径φ50×長さ65) ゴムソケット20……2 (内径φ20×外径φ28×長さ65) ホースクランプφ50……2 ホースクランプφ30……4

〔延長配管時のご注意〕

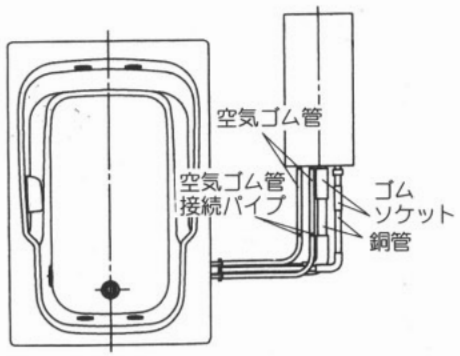
- 往き配管は20A（φ22.2）銅管、戻り配管は32A（φ35）銅管です。
- 配管の延長は、2.5m以内としてください。
- 配管の曲がり部は2ヶ所までにしてください。
- 配管が垂れないように必ず配管を支持してください。
- 標準の接続配管（接続配管25PT、20PT）は配管固定スリーブが熱により変形するおそれがあるので、口一付けはしないでください。
- 浴槽、システムバスとの接続口は必ず点検できるようにしてください。
- ゴム継手は隠ぺい部（点検修理が不可能なところ）にならないようにしてください。
- 隠ぺい部（点検修理が不可能なところ）の継手は、銅管用継手を使用してください。（銅管用継手は現地手配）
- 銅管が長い場合は、パイプカッターで適正な長さに切断し、カエリを取ってください。
- 浴槽配管に銅管の膨張、収縮による力がかからないように現場状況に合わせ、遊びを設けてください。
- 口一付けの場合はHソルダー以上の口一付けとし、フラックスを完全に除去してください。
- 口一付けを行った場合は浴槽配管工事後、通水し、配管内のフラックスを完全に除去してください。
- 銅管のつぶれ、釘打ちに関して、他の工事業者の人にも事前に注意するか、配管後、ラベルやポスターを貼り注意を喚起してください。
- トリイ配管はしないでください。
  気泡運転ができなくなったり、配管中に水が残り、凍結して配管が破損することがあります。
- 配管工事の際に配管中にゴミ、砂が入らないよう、配管の取り扱いには十分ご注意ください。

(2)延長配管例

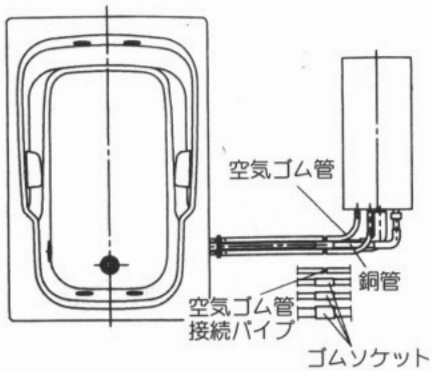
- ゴム継手は、ホースクランプで締め付けてください。
  （差し込み代約30mm）
- 試運転後、銅管部分に保温材を巻いてください。

①配管延長の場合

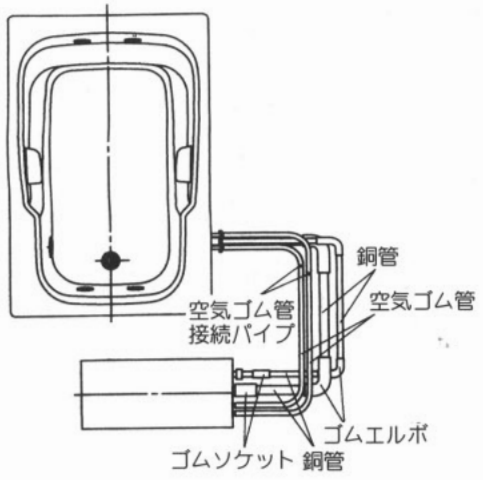
例1



例2

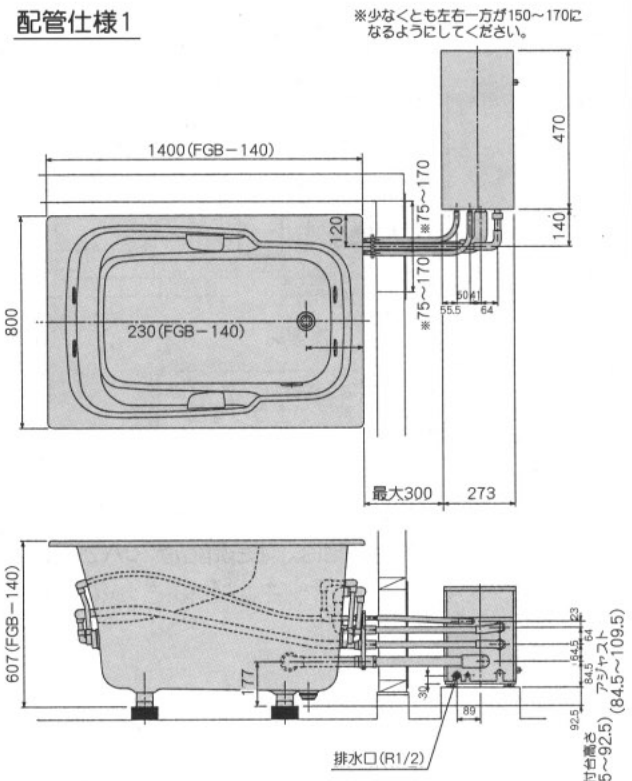


②配管2曲り延長（標準より1曲り追加）の場合

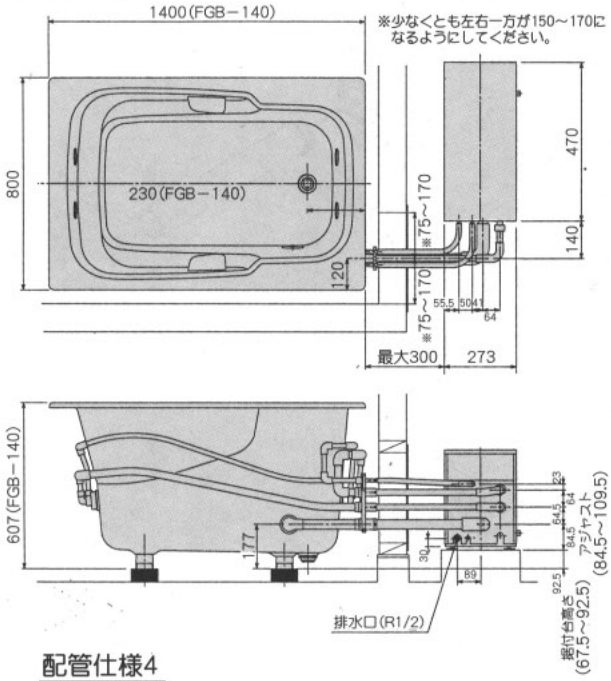


標準配管設置図

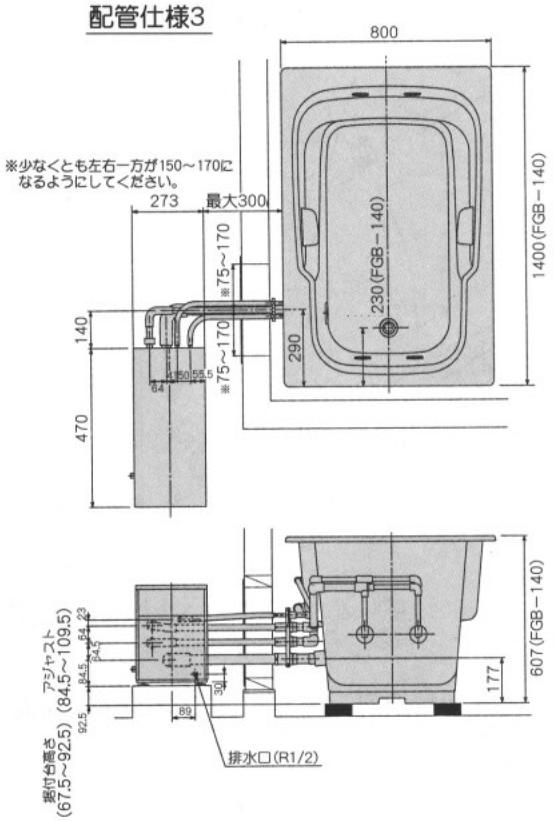
配管仕様1



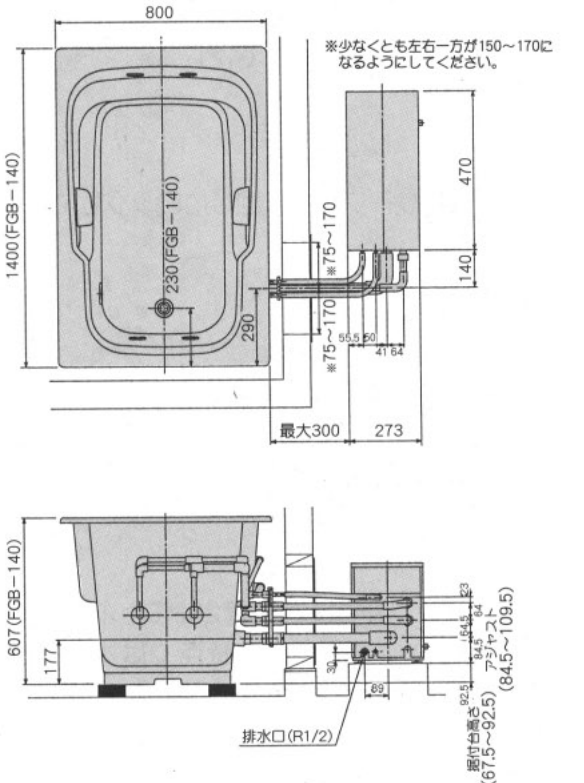
配管仕様2



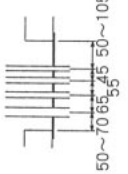
配管仕様3



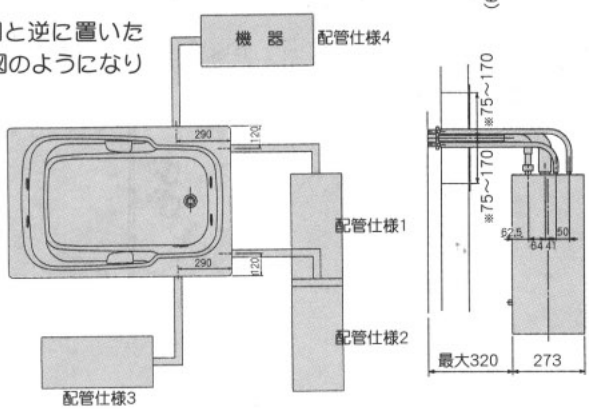
配管仕様4



点検口寸法



注：ポンプを上図と逆に置いた時の寸法は図のようになります。



8 電気工事

- この機器にはAC100V電源が必要です。電気配線については電力会社の指定工事店に依頼してください。
- 電源コードが余る場合は機器の外にて処理してください。
（機器の中へは絶対に押し込まないでください。）

電源用コンセントについて

- 電源はこの機器専用回路にしてください。
- 電源コンセントはJIS防雨型コンセント（接地端子付）を使用してください。
- 機器を設置する場所に電源コンセントがない場合、あるいはあっても適切でない場合には、新設、移設、または交換などが必要です。
- 機器の電気関係の仕様（電圧・周波数・消費電力）を確認してください。
この機器には50Hz専用、60Hz専用の2種類があります。
- 電源コードの長さは1.5mです。

接地工事について

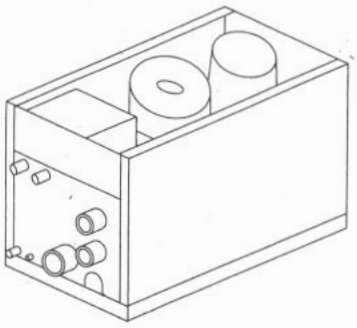
- 電気設備に関する技術基準（第28条）によるD種（第3種）接地工事を行ってください。
（接地抵抗100Ω以下）
- 電気設備に関する技術基準（第41条）により、漏電したとき自動的に電路をしゃ断する装置（漏電しゃ断器）を電源側に設けてください。
- 機器にアース線（緑色）が接続されています。

工事手順（コンセントにアース端子が付いている場合）
⑴機器に接続されているアース線（緑色）の先端のビニールを約1.5cm取り除いてください。
⑵コンセントの接地端子にアース線を接続してください。
※付属のアース線は、公称導体断面積2mm²で長さは2mです。
※コンセントにアース端子がない場合には付属のアース棒を使用してください。

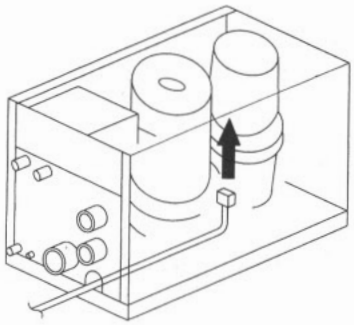
9 リモコンケーブルの接続

- リモコンケーブルは可とう電線管等で保護してください。
- リモコンケーブルは点検・交換できるように施工してください。

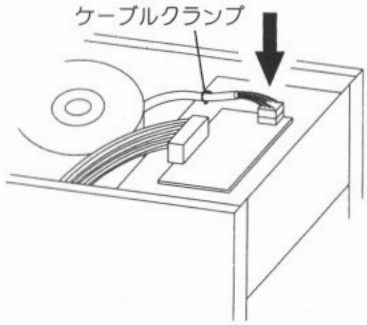
①天板をはずしてください。



②リモコンケーブルを挿入口より挿入し、ろ過器とポンプモーターの間から上部へ引き上げてください。



③プラスチックカバーを上へ上げてください。
リモコンケーブルをケーブルクランプのリングを通して6Pコネクタを基板のコネクタに確実に接続する。



④リモコンケーブルをケーブルクランプにて固定してください。
プラスチックカバーを元通りにセットしてください。

⑤天板を取り付けてください。

10 設置工事後の確認

設置並びに工事が終わりましたらもう一度確認してください。

機器およびその周辺

- 日常の使用および点検に支障をきたしませんか。
- 排水処理ができていますか。

泡ぶろ配管

- 接続配管の接続部より水漏れがないか確認してください。
- 接続配管は水平に、エアー溜りができないようになっていますか。

排水管工事

- 機器の排水口は排水管工事が確実に行われていますか。

電気工事

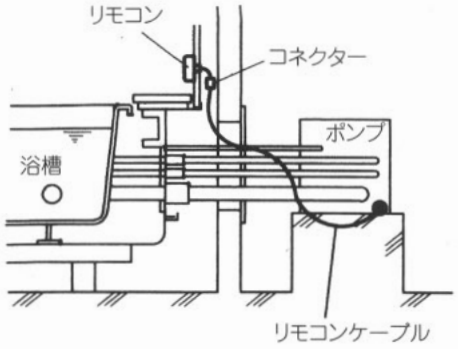
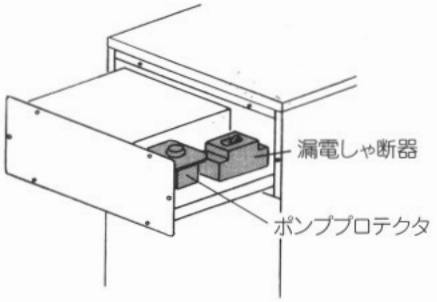
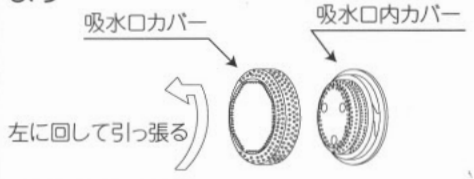
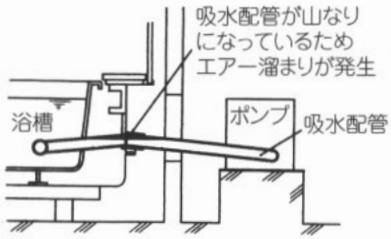
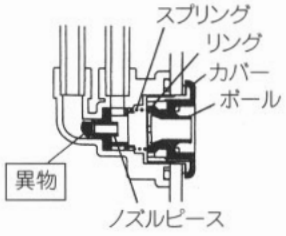
- アース（接地）工事は確実に行われていますか。
- リモコンケーブルの接続は確実に行われていますか。
- 漏電しゃ断器・ポンププロテクタは“ON”になっていますか。

11 試運転

（詳しくは取扱説明書をお読みください。）

	操　作	動作・チェック項目	結　果
1	電源コンセントに電源プラグを入れる	リモコン表示 運転ランプ点滅（約10秒間）	
2	浴槽に水（湯）を入れる		
3	運転スイッチを押す（1回目）	ろ過器洗浄運転（自動） リモコン表示 ・「運転」　表示 ・「ろ過器洗浄」　表示　点灯 ・「標準」「強」「両」表示	
		排水口より排水が出ますか	
		約50秒で自動停止しますか 三方弁ろ過側へ動作、運転表示点滅 （約10秒間）	
4	もう一度運転スイッチを押す 運転モード切替スイッチを押す	気泡運転、運転状態の確認 モード切替　動作	
		泡量切替　動作	
		背／足切替　動作	
5	ろ過スイッチを押す	ろ過運転 循環量が少なくなり、気泡が止まる （ほとんど出なくなる）	
6	停止時に「モード切替」スイッチを2秒間押し続ける	チャイルドロックランプ点灯し、 他のスイッチを受け付けなくなる	
	もう一度「モード切替」スイッチを2秒間押し続ける	チャイルドロックランプ消灯する	
7	2～6の操作中	配管、各接続部から水もれがないこと	
8	浴槽の水（湯）を排水する	リモコンの「運転」スイッチを押す 「水位低下」表示点灯（約10秒間）	

主なトラブルと点検ポイント

トラブル現象	リモコン表示	点検内容	処　置
1. 運転スイッチを押しても動作しない（浴槽に水は有る） 運転表示点滅中、チャイルドロック表示点灯中はスイッチを受け付けません。	運転表示点灯しない	1）電源・漏電しゃ断器の点検 2）リモコンケーブルが接続していない  	・電源の確保 ・リモコンケーブルを接続
	運転表示その他の表示は点灯する（正常）	ポンププロテクタの点検  	・ポンププロテクタの赤いボタンを押す
	目づまり表示が点灯して止まる	浴槽内の吸水口カバー、内カバーのつまり  	・吸水口カバー、内カバーを掃除する
	「水位低下」表示点灯する（約10秒間）	ポンプのレベルが高すぎる	・ポンプのレベル調整
2. 運転スイッチを押してもポンプは運転するが気泡が出てこない	運転表示点灯する（正常）	吸水口配管にエアー溜まりがある  	・ポンプのレベルを上げ、接続配管を水平にする
3. 1～2ヶ所のノズルから気泡が出ない	正常	ノズルに異物がつまっている  	・異物を取り除く 浴槽部よりカバーをゆるめて、ボール、リング、スプリングを取りはずし、ノズルピースをラジペン等で引き抜いて、異物を除いてください。

お客様への説明

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「特に注意していただきたいこと」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って「保証・サービス」について説明してください。

仕　様

ポンプ部の仕様

型　　式	単相コンデンサ誘導電動機	
品　　番	HJPT-460(50)	HJPT-460(60)
電源電圧	AC100V	
周波数	50Hz	60Hz
循環水量	80ℓ/min	80ℓ/min
消費電力	650W	650W
騒　　音	50dB(A)	50dB(A)
運転電流	7.1A	6.7A
起動電流	28A	27A
常用使用最高水温	45℃	
設置場所	屋外設置用	
電源コード	1.25㎟キャブタイヤケーブル長さ1.5m	
付　　属　　品	リモコン（一式）、リモコンケーブル5m アース棒	

ダカラスタンダード株式会社

本社　〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL　(06) 6962－1531

3H-3